

7月3日

金野清美さんに叙勲伝達



元北十勝消防事務組合副団長の金野清美さんは、平成25年春の叙勲・褒章において瑞宝単光章を受賞されました。
金野さんは昭和34年に上士幌消防団へ入団後、平成20年4月から平成24年3月まで副団長を務められ、地域防災体制の確立や団員育成に大きく貢献されました。

7月6日

アカペラグループ「アナナス」コンサート



4人組アカペラグループ「アナナス」のコンサートが、山村開発センター大ホールで開催されました。コンサートでは「ソプラノ」や「アルト」など異なる声を持つ4人のメンバーのみなさんがクラシック曲や日本の名曲などをアカペラで披露し、来場者を魅了しました。この日コンサートを鑑賞した町内の女性は「4人のハーモニーがとても素晴らしく、心が洗われました。」と話されていました。

6チームが熱演、上高仮装パフォーマンス



第51回上高祭の「仮装パフォーマンス」がふれあい公園で開催されました。上高生のみなさんは、クラス毎に「白雪姫」や「シンデレラ」などの仮装に身を包んでストーリー仕立てのパフォーマンスを披露し、集まった観客から喝采を浴びていました。

7月7日

伝統儀式を厳かに再現、第29回オツパイ山祭り



「第29回オツパイ山祭り」(オツパイ山祭り組織委員会主催)が東泉園で開催され、アイヌ民族に伝わる祈りの儀式「カムイノミ」が関係者を集めて行われました。

このお祭りは、三股の西クマネシリ岳とピリベツ岳(通称オツパイ山)が「民族発祥の地」とみなされていることに由来するもので、カムイノミの儀式では、神々に供物を捧げて人々の安全を祈願しました。

お祭りでは各地のアイヌ関係者による古式舞踊も披露され、来場者の目を楽しませていました。

上士幌町シルバー学級の6月例会が、6月21日(金)に開催されました。

今回は町内視察として、計54名がバス2台に分乗して町内を巡り、タウシュベツ川橋梁やひがし大雪自然館、アイス工房ドリームなどを見学しました。

6・7月の まちのわだい



「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。
企画財政課情報交流担当 ☎ 2-2111 内線 265 または E-Mail ☉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

第25回オツパイ山サイクリング大会

晴天のなか、63名の参加者がオツパイ山を眺めながら、ぬかびら源泉郷から十勝三股間往復50キロのコースを約2時間かけて走りぬけました。競技を終えた町内の69歳の男性参加者は、「体を動かすことが大事と思い3年前から自転車を始め、今回で3回目の参加です。楽しく走れました。」と語ってくれました。



7月10日

6年ぶりに交通安全標語を刷新

7月10日の「生命(いのち)を大切にする日」にあわせ、上士幌小学校で「命を大切にする集会」が開催されました。



集会では児童らによる「交通安全の誓い」の朗読が行われたほか、上士幌町交通安全協会が6年ぶりに募集した標語コンクールの表彰が行われ、優秀賞に選ばれた1年の多田尊琉さん、3年の杉山友莉さ

ん、6年の中田歩夢さんに賞状が贈られました。

上士幌町交通安全協会の工藤浩会長は「標語は校門横の交差点に看板として設置するので、登下校の時に読むなどして、交通安全に気をつけてください。」と話されました。

7月12日

手芸サークルが交通安全キャンペーン

夏の交通安全週間にあわせ、生きがいセンター手芸サークル(山田ヒサ子代表)が国道241号沿いで啓発活動を行いました。



この日は12名の会員のみなさんが「安全運転よろしくお願いします。」など声をかけながら、交通安全のお守りとチラシを配りました。お守りはサークルで手作りした熱気球型のもので、ドライバーさんに好評でした。

平成25年度平和追悼献花式

高台公園の平和の塔前において、平成25年度平和追悼献花式が行われました。式には竹中町長をはじめ43名の方が出席し、異国の地に没した24柱の英霊のご冥福を祈るとともに、黙とうと献花が行われました。



7月17日

社会科見学で役場を訪問

上士幌小学校の3年生約50名が、社会科見学で役場を訪問しました。

この日、子どもたちは1階と2階を順番に巡り、役場にある各課の仕事について、役場職員より説明を受けました。



また3階の議場では質問タイムが設けられ、「役場にパソコンは何台くらいあるのですか。」「仕事はどのくらいあるのですか。」など活発に質問が寄せられました。

大野隆斗君、全国へ!

7月26日〜28日に神戸総合運動公園体育館で開催される「平成25年度全日本卓球選手権大会(バンビの部)」に出場する大野隆斗君(上士幌小学校2年)



が、竹中町長を表敬訪問しました。

上士幌卓球少年団に所属する大野君は、卓球歴がまだ1年3カ月と浅いですが、5月に行われた全道大会においてベスト8進出の成績を収め、全国への切符を手に入れました。竹中町長より「五千人の町民みんなが応援しています。」と激励を受けた大野君は「頑張ってきます!」と力強く応えてくれました。



地産地消料理レシピ

農林商工の連携による特産品の開発・商品化の支援の一環として、平成25年2月4日に料理研究家・馬場香織氏を講師に招いて地産地消料理試食会を開催しました。

その際に試食した料理を不定期でご紹介します。

材料 (8人前)

- 牛乳…600cc ●卵…6個
- てんさい糖…120g
- バニラエクストラクト…小さじ1.5
- カラメルソース(てんさい糖75g・酢小さじ1.5・水大さじ1.5を小さなテフロンのフライパンにすべてを入れ焦げて良い香りがしてきたら型に入れる)

作り方

1. 牛乳に砂糖を入れひと肌に温める
2. 卵を割りほぐし、「1.」を加え、バニラエクストラクトも入れて網でこしながら型に入れる
3. 150度の余熱をかけた水を張ったオーブンに入れ30分焼く

てんさい糖のプリン



▲地場産の牛乳、卵、てんさい糖などを使ってみましょう

町では、農林商工連携による新商品の開発に対して支援を行なっています。
詳しくは役場商工観光課商工担当(内線241)にご相談ください。

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲どのクラスも鮮やかで趣向がこらされた垂れ幕

今回垂れ幕部門を担当した佐藤雅美先生は「全体的なレベルが去年よりも上がっていて、2・3年生は去年の反省を活かして作成できていた。1年生もレベルの高い垂れ幕を作成していて驚いた。」と話す。

上士幌高校にて7月6日(土)、7日(日)に学校祭が行なわれた。垂れ幕部門で「2年A組のハキハキとした元気さを白虎で表現する」がコンセプトの2年A組が優勝を飾った。2A垂れ幕実行委員の森本梨瑚さんは「3年生に勝てたのは驚いたし、今年から新しく行なわれた町民投票でも1位を取れたのがうれしかったです。白虎を平面の布で立体的に描き、影をどうやってつけるかで悩みました。白虎以外では文字のバランスと配置にこだわり、一目みて文字のバランスが良くなるように気を使い作りましたが、今年は失敗してしまったので来年は文字をバランスよく配置し、優勝を狙いたいです。」と語ってくれた。

7月6日(土)～7日(日)
笑顔が飛び交う学校祭

文責 1年 古市和摩

町民(文)芸

川柳

短歌

熱気球落としたマーカードこへ行く
 歳のせいカゼがなかなかおらない
 静寂な夜空に花火舞いあがる
 乳しぼりおいしくのんで健康に
 歯磨きを口腔ケアで教えられ
 夏の庭次に咲く花楽しみに
 母さんの米寿の祝い温泉へ
 浴衣着て二人で歩く月明かり
 目が合ってエゾリス私を見つめてる
 原発をやめる決断「今でしょ」
 摘まれても負けず芽を出すスギナの子
 うっかりの言葉に不眠の夜が続く

パン一枚焼きて昼食すませたり夫のいぬ間の安けさにいて
 足を引く同年輩の多く見る今宵も日課とスクワットをする
 来るたびみほとけの花を頂きし今日は明るいむらさきの花
 夕焼空連山の峯黒ぐろとつづくを見つつ帰りきたりぬ
 投じたる一つの波紋ひろごりて薄るるまでを見守りたる
 丈け低き高山性の百合咲けり今年庭に雨多くして

白坂桜小大八齊米高米小鈴
 石田池戸重桧藤森木森松木
 い花由ト幸敦博誠真義
 馨子絵希ク子子樹也弓美豊

本 高 石
 間 木 川
 栞 慶 裕
 風 子 子

平成25年6月末現在の人口

男 2,466人(先月比+1)
 女 2,594人(先月比+11)
 計 5,060人(先月比+12)
 世帯数 2,362世帯(先月比+9)

寄付

一ふるさと納税一

▶各・金1万円…高篠和夫さん(埼玉県)、福田栄次さん(埼玉県)、久野光司さん(福岡県)、濱田実さん(三重県)、東條康宏さん(千葉県)、高安健一さん(埼玉県)、中西雅彦さん(東京都)、日下政志さん(千葉県)、木之下誠さん(広島県)、八木美知子さん(神奈川県)、脇田安祥さん(愛知県)、佐藤貴之さん(神奈川県)、木村靖さん(千葉県)、岡田大輔さん(大阪府)、三吉明さん(東京都)、田中正代さん(福岡県)、田中克己さん(福岡県)、大下創さん(千葉県)、湯川吉博さん(奈良県)、池澤尚人さん(埼玉県)

▶金4万円…三浦秀輔さん(長野県)

▶各・金6万円…栗岡宏和さん(大阪府)、木村真理子さん(東京都)



編集後記

紙第40回北海道パルーソフェスティバルの開
 幕直前特集として、こ
 れまでの歴史をまとめ
 ました。紙自分が生ま
 れる以前の歴史を細解く作業は大変で
 したが、40年の足跡の重みを改めて感
 じることができました。(40年の節目
 に関われることに感謝・・・Y)

紙夜のイベントに出かけることが多い
 この季節。娘やその友だちはとても楽
 しみしています。なぜなら、お酒を飲ん
 で気持ちが大きくなっているせい、
 いつもよりも親の財布のヒモがゆるい
 からです。紙我が家には、お祭りグッズ
 がだんだん増えてきています。(ピカ
 ぴか光るリボン型のカチューシャは、
 夜でも子どもを見つけやすい・・・K)

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

広報 **がみしほろ** 9月号は8月23日(金)発行予定